

需給管理は新電力事業の心臓部です。

新電力が顧客へ供給する電力は、JEPX(日本卸電力取引所)や直接契約をしている各発電所、自社の電源設備などから賄います。そして、「供給する電力量」と「調達する電力量」を、30分1コマ＝1日48コマの単位でぴたりと一致させる必要があります。これを「同時同量」と言い、新電力が果たす義務であることは、電力ビジネスに従事される方はご存知の通りです。

需給管理は、電力ビジネスを営む方々にとって経営インパクトが非常に大きい業務である一方、需給管理を体系的に学ぶためのノウハウはオープンになっていませんでした。需給管理のために必要な知識を体系的に整理することが非常に困難であるがゆえに、需給管理の人材育成に対する重要性を理解していながら、どのように育てればよいかわからないという声も少なくありません。

そうした声に応えるべく、新電力事業を左右する業務である「需給管理」を、基礎から徹底的に解説する講座を日経エネルギーNextが作りました。

全5章・20講座を受講いただくことで、需給管理の基礎から日々の業務、JEPX高騰要因の分析手法などはもちろん、自社にとって最適な電源ポートフォリオの姿とは？需要平準化のために必要な要素とは？といった、エキスパート人材や経営幹部になるためのエッセンスを理解することができます。

需給管理をマスターすることは、電力ビジネスの成功に必要な絶対条件です。

また、新電力事業の経営幹部を目指す過程においても、絶対に欠かすことができない知識です。他にはない究極の講座から学び、需給管理人材の育成、ひいては強い組織づくりにお役立てください。



料金メニュー(税別)

発行ID	一般価格	会員価格 ユーザー価格
5	¥1,200,000	¥1,000,000

●1ID追加：15万円/年(税別)

*本サービスは、最小発行ID数を5ID～とさせていただきます。
受講対象者が5名以下である場合は、下記Webフォームよりお問い合わせください。
*「会員価格」の適用は、新電力限定の会員組織「日経エネルギーNextビジネス会議」の会員企業に限ります。
*「ユーザー価格」の適用は、「日経エネルギーNext経営塾 電力ビジネス基礎講座」を現在ご利用いただいている企業様に限ります。ご利用期間を「電力ビジネス基礎講座」と揃えたい等のご要望は、別途お問い合わせ下さい。

推奨利用環境

本講座はインターネットを利用するサービスとなります。高速通信が可能な、電波環境の良い場所からアクセスください。
回線状況によって切断が発生する場合があります。

サービス利用の注意

・本サービスは、学習効果測定の観点から原則「1名1ID」にてご利用ください。
・本サービスは、PC/スマートフォン/タブレットとデバイスを問わず、ブラウザ完結でご利用いただけるサービスです。
・本サービスは、原則1年間でのご利用にてお申込みを受け付けております。これによらない利用期間をご希望の場合は、下記よりお問い合わせください。なお、お客様都合による解約によるご返金は承りません。

お問い合わせ、詳細はこちら

WEB nbpm.jp/jukyu



日経エネルギーNext 経営塾 需給管理基礎講座

日経エネルギーNext 経営塾



体系化が難しかった
需給管理業務を、
心得・計画作成・電源調達・
インバランス・組織体制
に分け徹底解説

新電力事業の
心臓部である
需給管理の本質
を丁寧に学ぶ

PC・スマホ・タブレット
いつでもどこでも
何度でも受講可能

需給管理の“原理原則”を身に付ける

新電力事業を左右する業務である「需給管理」を、基礎から徹底的に解説する講座を日経エネルギーNextが作りました。

講座のポイント

- 1 今まで誰にも聞けなかった「需給管理業務」が、基礎から実務まで深く理解できる
- 2 自社内に需給管理組織を構築することで、電力ビジネスの利益率向上に手が打てる
- 3 オペレーターだけでなく、経営、営業などリーダー人材が需給管理を学ぶことで、JEPX高騰や容量市場などの外部環境の変化に対応できる経営人材を育成できる

こんな方におすすめです



新電力において需給管理業務に従事される方
(マネージャー、オペレーター)



需給管理、電源調達業務について
深く理解したい新電力経営層、管理職の方



balancingグループから独立し、
自社での需給管理体制を構築したい方



balancingグループの運営に従事される方
(マネージャー、オペレーター)



電力ビジネスへの参入や、電力関連サービスへの参入を検討する事業責任者、担当者の方

使い方は簡単です 管理機能が充実していて、研修結果も一目瞭然

ユーザー属性/管理機能

管理画面で講座の受講状況を個人単位で把握できます。履歴管理者は、コンテンツ視聴達成度（総視聴コンテンツ数×総視聴時間）で、一般ユーザーの達成率をグラフで視覚的に把握できる画面構成になっています。



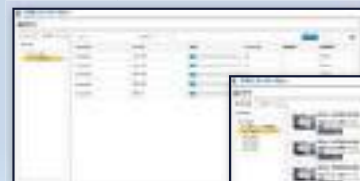
履歴管理者

一般ユーザの機能に加え、受講者全体の
受講進捗が確認できます。



一般ユーザー

全20の講座＋各講座に設定したテスト
問題を受講。



▲ 管理画面



▲ 講義画面



テスト問題

各講座ごとに、理解度チェックのテスト問題を用意しています。
1講座に対し3～5問程度で、必ず理解してもらいたいポイントを網羅しています。
なお、「動画をしっかり見ていれば満点が取れる」レベルに設定しています。



講座の内容

全5章・20講座

でこの道の専門家が丁寧に解説

日経エネルギーNext経営塾 需給管理基礎講座一覧

No	パート	講座名	TIME(mm:ss)	講座概要
1	需給管理概論	① 需給管理の概要	20:40	需給管理とは何か、電力の3つの特徴的な性質、電力の品質とは、同時同量とは、需給管理業務とは
		② 需給管理業務フロー	21:56	広域機関による同時同量の確認、需給管理オペレーションの流れ、需要計画作成、調達計画作成準備、JEPX取引、調達計画作成、計画提出、監視・計画修正、需給管理業務の時間軸、当日の電力需給
		③ 需給管理担当者の心得	8:30	需給管理担当者が把握できる情報（需要家の30分単位の電力使用状況、電力ビジネスの粗利や電力の調達単価など新電力の利益に関する情報、新電力の需要家獲得状況、発電事業者の卸価格）、需給管理担当者のキャリアパス
2	需要計画の作成	① 需要予測の概要	17:04	需要予測の意義、需要予測とは、需要予測を行う「エリア」とは、需給管理における「需要家」とは、「1建物＝1需要家」の例外について、実需給日とは、30分単位とは、使用電力量と需要カーブ
		② 需要予測の重要性	7:57	需要予測と需要計画および調達計画の相関性、需要予測の重要性、需要予測精度向上のための2大要素
		③ 高圧需要家の需要予測	11:05	高圧需要家とは、高圧需要家の予測、高圧需要家の特徴、昼間時間型の需要家、朝夜時間型の需要家、24時間型の需要家、不規則型の需要家、需要家情報シートの作成方法
		④ 低圧需要家の需要予測	7:46	低圧需要家とは、低圧需要家の特徴、一般家庭の需要、低圧需要家の予測
		⑤ 需要予測と気象	19:27	気温・湿度と需要、需要家の季節ごとの需要傾向（夏・冬）、需要予測と気象、需要に影響を与える主な気象現象解説：フェーン現象、台風、南岸低気圧
		⑥ 需要予測の実践	22:41	需要予測業務の全体像、個別需要家の需要予測、類似条件日の需要相関（気象条件の類似）、気象条件類似日を参考値とする予測方法、需要予測の手法、需給管理システムの予測画面イメージ、需要予測の実践
3	電源調達	① 電源調達概論	14:59	電源とは、日本の発電所について、発電所の規模、発電自由化の歴史、大手電力の発電所シェア
		② 電源調達方法	10:26	自社発電所からの調達、発電事業者からの相対調達、相対調達とは、大手新電力からの相対調達、ブローカーの紹介による調達、電力市場からの調達、電力市場の種類
		③ 電源調達パターン	5:52	ベース調達、ミドル調達、バッチ調達、バリエابل調達
		④ JEPXスポット市場・時間前市場	31:44	JEPXの設立経緯、JEPXスポット市場の役割、JEPXスポット市場の概要、スポット市場の実務、入札ルール、時間前市場とは、JEPX Webサイト画面の内容、JEPXの高騰とその要因
		⑤ ベースロード市場・先渡市場・先物市場	13:07	ベースロード電源とは、ベースロード電源へのアクセスを巡る課題、ベースロード市場とは、先物市場・先渡市場の必要性、新電力のリスクマネジメント推進の流れ、先物取引、先渡取引とは
		⑥ 調達ポリシー	15:06	調達ポリシーとは、調達ポリシー策定のポイント、電源調達先の特徴整理
4	インバランス	① 計画値同時同量とインバランス	16:16	同時同量の原則、計画値同時同量とは、計画値同時同量の仕組み、インバランス、インバランスの種類、同時同量をめぐる情勢の変化
		② インバランスコスト	25:28	電源調達コストとインバランスコスト、インバランスコストの位置づけ、インバランスコストの計算、実質的な電源調達コストの計算とインバランスコスト、インバランス料金単価、インバランス料金の算定方法
		③ インバランス抑制策	12:30	インバランス確定までの抑制策、需要予測の精度向上と需要家件数の関係、ならし効果が低い・高い新電力の例、balancingグループ、デマンドレスポンスとは
5	需給管理の強化	① 需給管理体制の構築	10:16	需給管理体制を構築するための3つのポイント、需給管理人材、需給管理システム、需給管理において収集すべき情報（気象、燃料、制度）
		② 需給管理能力の普遍性	16:14	需給管理業務と同時同量、需給管理業務フローのおさらい（①需要予測 ②電源調達 ③計画値同時同量）、需給管理スキルの重要性和普遍性

講師からのメッセージ

需給管理を制する者は、新電力事業を制す！

私は10年以上、この信念だけは揺るがずに電力ビジネスを支援してきました。

本講座は、私自身が需給管理業務を通じて直接会得した知見だけでなく、私が出会った極めて優れた需給管理担当者に学んだ“生きた現場の知見”もとり入れました。電力自由化史上、需給管理に関する「最高の基礎教本」に仕上がったと自負しています。需給管理初学者の方が、講座終了後には中級以上のレベルに成長できるよう、幾度も資料を校正して理解しやすいよう練り上げています。

需給管理を日々のルーティン業務とせず、新電力の利益へ直接的、間接的に結びつけるために必要となる情報を盛り込んでいます。競争環境が移ろいやすい新電力事業にあって、需給管理の知恵があれば如何様にも対応できる、ということを実感していただけたら嬉しいです。

村谷 敬氏 AnPrenergy 代表

講師プロフィール

成蹊大学法学部法律学科卒業後、村谷法律行政書士事務所所長としてエネルギー法務に従事。再エネ発電所の農地転用、都市計画法上の各種許可、企業・住民間のトラブル対応を担当。その後、エナリス、エプロにて需給管理に関する知識を習得するとともに、地域新電力の立上げや運用支援を手がける。2017年に株式会社AnPrenergy設立。新電力20社の需給管理人材育成、電源交渉支援、事業企画支援を行う。

